

夏の夜は
バズ

四〇 原口左与
大部前から話題を賑わしていたバランスのお江戸めぐりがやつと奥を結んで昨年八月末六十余名の参加者を得て名震共に涼(涼?)味満々! 夏の夜の更け行くのを借りしな程の楽しい想いをしたのである。午後六時集合。さすがワカバ会の面々皆元気で立派だ。二台のバスに分れてまず行く先は上野鈴木。その道すがら美しいバス塘の流れるような説明をお上りさんよろしくと妙神にききはれる。まもなく到着。ゾロゾロ下りて冷房の効いた(広告文とまちがえられるかな)鈴木に入る。

唯一のお江戸名残りの落語客席。相当満員で何とはなしにはつとし大ものゝ後の方にたたされてのサーヴィスはバス客の悲哀をちよつと味わされた形。幼い小学生時代よく父の後を追いかけて行つた客席は未だたよみ敷、隣かれた煙草盆を前にチヨコンと座つて聞いた落語のすが／＼しさは又格別。いす席と高座はしよせんは水と油でしつくりしないなどと考へてる中に途中から聞いた桂三木助の落語が終る。

ふと出口の方を眺めた耳にマイクは叫けんだ。「何号車と何号車のお客様お時間でござりますウ」すると前の方にいた人々も皆一度に立つて出入口の方に向つて行つてしまいました。何の事はないはとんどが観光バスのお客様だったのです。次に行つたのが甘党にはうれしい閑田川のはとり言間だんこの店である。さぞかし風景豊かなと想像をめぐらして楽しんでいたのに案外の平凡に少々がつかり、それに第一おだんごはおづけで、記念写真をとつたものである。バス全社さし向けの教師君夜目にも鮮かな美しい女性運を前にして目が狂つたのか仲々ピントが合わない。時間のかゝる事おびただしい。パチリ! と済んで店にとび込んだ時は時間がせまり目に白黒して二つのおだんごをよ

えていつからともなく新内流しの音ももれて来るような錯覚さえ起る。

一次はお待ちかねの日劇のストリップショーや劇場でございまア「アース」という歌でいさゝか緊張を過ぎて、餘元のあたりがゾクツとすらるのはあながち冷房のき過ぎである。舞台は客席の中にぐらうつと入りこんで真正面席のないお相撲見物みたいた。但し裸体は裸体でもこれはお相撲が健徳的で、すごくあけつけばなしなのにこちらは（人生の神秘はこれである）とばかり赤青みどりのライトが乱ればかりに、何かあごのあたりがモゼモゼとしそうなメロディーが或いはわめき、或は歎げき八頭身やら七頭身がくねくねとライトに浮び上がる。此処も勿論立見席。視覚が感動をする前に足が稳定性の不足を露となつて雑とう中に追出される。あれ程期待に胸をふくらましに、いさゝか拍子抜けがしたのはどうも私ばかりではないらしく、何の感興も湧かない中に、いよいよ最後のフロリダダンスホール、うち並ぶ美しきダンサントン嬢の間を縋いながらうす暗い廊下は我々の鈍い感にはちよつと御縁遠いかゴットントつまずいたりしながら二階の見物席へ、満員御礼の出そらなのは見物席ばかり、何ときれいなワルツか何かに合わせて踊る人がたつた四五組、廻りのテーブルに二三組、誠に風通しの良い事である。「へえ」とついたため息は夏枯れに湧いた同情の念からである。「ねえ、これまでたつていくかしら、ダンサー」食べて行けるかしらお里が知れるぬかみそ女房達のささやきである。くばられたアイスクリームを喜々としてほゞぱりながらショウとなるものをみて無聊をかこつダンサー姉の又の名を「壁の花」とかいう新知識を入れて今日のお楽し

やかな起伏を画いてまず街を聞き、高處に立つて望めば月夜の漁火場の広々とした平原から北海道特有のボブラーの寧々たる木立まで眺め渡す事が出来る。街のまつ只中にでも寧々と、原始の榆、からまつボブラー、柏、アカシヤなど育ててある。幽遠な原始林となれば藻岩にも円山にも植物園にもある。屋でも暗い陰をなししてこの森は黙然と大自然の姿を保つていて、み街中に思づいている事は札幌の特色かもしれない。

した後、籠の葉を取き乍ら御飯とお酒と塩でつけるのである。大根人参、きやべつ、生姜、ゆずなどを千切にして、うす塩したものゝ上にはつけ、酒、塩、生姜が、ゆづそして御飯と一段々々籠の葉で塩しながらつけてゆく。時季を逸せばあとは自然がまことに具合よく醸成してくれる。お正月ぶんと来るゆずの香に胸をはずませ手間をかけて漬けこんでさへおけばあとは自然がまことに具合よく醸成してくれる。お正月ぶんから重い石をのけてとり出す喜びは忘れられぬものである。

先生は「無精に東京が恋しい。第六時代がなつかしい。第二のぶるさとである東京へ行けるものなら行きたい」と幾度となくおもらくなぐさめられている」と。そのお言葉は心からの叫びとして私の胸を打つのでした。

それにつけても男の方が女学生を教育するに当り、各方面にわたる研究をされ、こんなにも御苦労していらっしゃたのかと、一部子供の頃には分らなかつた先生の女子教育に対するシンシンな態度、真剣さ、更にはつきりわかり感動の嵐にしてしまった。と同時に先生を貰く情熱は今もそのまま、いやまして先生は情熱の人であり、あの情熱の消えぬ間は健康を害され乍らも、尙お元気で御活躍出来るのだと確信したのです。

いつか時も移り、古都奈良の趣き深いたゞすまいのうちに夕陽の傾きを見、私の心の純白のヴェールの中にも先生は永遠に金色の光を放ちつゝけるであろうと考えつゝお名残りつきの事ながら潔大寺駆除までお送りいたしました。

万感胸にせまり、お別れの言葉も思うにまかせず、じつと先生のお顔を仰ぎ見た時、涙の光るのを見たのです。きらきらとこの上もなくさうい光をたたえて、先生の御幸福と御健康を祈つて止みません。（医博、東邦医大教授 眼科部長 ル（CH₃CH₂CH₂CH₂CH₃）

香にはどの様な特徴があるのでもうかるか。緑茶の香については京才の武居博士等がかつて（昭和八十三年）莫大量（約千四百貫）の緑茶を用いて研究され、香氣成分としてカプロン酸、カブリル酸、フエノール、ケレゾール、サルチル酸メチル、アセトフェノン、ベニガルデヒド、オクチルアルコール、ベンジルアルコール、フェニルエチルアルコール、ゲラニオール、リナコール等を見出された。そして新茶にはこれ等の他に微量の青葉アルコール、青葉アルデヒドが含まれていて、之が新茶の香を特徴づけていることを示された。近年冷蔵設備が発達するに従い、新茶の香を長く保たせる為低温で保管することが試みられている。若葉の香、ヘキセノール、ヘキナールはこの様に新茶特有の香として貴重な役割を果している。こんなことからもワカバ会とは本当に名だなとつくふと思ふ。（農博、お茶の水女子大助教授）

面白い。
こう書いていると四季を通じて
スポーツをたのしんでいるひと
の様に思われるかも知れないが、こ
れは私達の第六校長でいらした山
本作先生の「スポーツはあまほん
く、たえず、正しく」と云う御訓
の一端を守つてゐるだけである。
そのため私は医師として忙
しい不規則な生活をしているが健
康にめぐまれ、元気で仕事が出来
るので喜んでいる。
スポーツは若年者は入り易く、想
しみ易いが、だん／＼中年老年に
なると急にやり始める事は無理な
事あるから、なるべく女学生時代か
ら引き続き社会人となつても、結婚
生活に入つても、あらゆる境遇の時
中でチャレンスをつかんで大いにニ
ボーットをやりましょう。それは予
防医学的に見ても大いに意義があ
ると思う。

会員だより

五二

景気が賑かにおしよせてこの土地はあらゆる沈黙を破り、老も若きもの暫くの季節を樂しみのである。

御氣分もよろしく、お動きに
れる程におなりとの事です。

。之は広く植物の若葉に含まれてゐる。

も技術の方は余り上達しないが、只ラケットを振ることが非常に多い。又豊島園の中に、ゴルフ

とんのお手入れの季節に
た。どうしたら上手に入

けを運転手君から受けてもう一日
散心は我が家へ走つたのである。

疾患と神経痛で、どちらも頑固で、先生を随分お苦しめしたようでした。

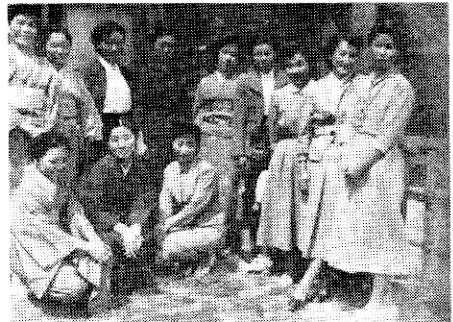
CH_2OH ジア (カルブア-)
(カーラー) キセナール ($\text{CH}_2=\text{CH}-$)

雪がなくなる頃になると一ヶ月に二度休める日曜には家の近くの農

ふとん綿の入
れ方

関西ワカバ会
便り

昨年六月一四日倉敷美術館、岡山市後楽園、池田牧場見学、七月戸賀崎、高橋百合子両先生歓迎会、五月二一日、東龍太郎先生を迎へました。他諸外国の珍らしいお話を聴き、一二月一四日関西ワカバ会総会同時に高橋忠雄先生を迎へました。この総会には今迄御出席のなかつた方々のお顔ぶれが多く嬉しい事でした。(各々於阪急) 今年に入り三月九日14石井好子様のリサイタル鑑賞(朝日会館)翌廿日夕石井様を迎へました。五月一七日関西日光と称され多武峰長谷寺へハイキング、六月一三日ア砂原美智子様の独唱会鑑賞(於産経会館) 関西の集りも始める頃からみますと会員も二百名を越える様になつました。今後益々関西ワカバ会の発展に努力致し度いものと思います。以上簡単乍ら御報告申上げました東京の皆様関西へ御越しの節



は大歓迎致します故何卒御連絡下さいませ。十三イ川畑連絡先 西宮市浜町三二辰馬道子

連絡先 福岡市中庄町五三二E 富田やす子

上田二オ	廿二川合の二	甘二石井の二	・温	潤子(分納)
高二寺の田の二	高一寺の田の二	高一寺の田の二	信子	
高二水の井の二	高二水の井の二	高二水の井の二	房江	
高三中の留五	高三中の留五	高三中の留五	栄	
高四田の三	高四田の三	高四田の三	勝子	
高四子の四	高四子の四	高四子の四	ね子	
高永田の五	高永田の五	高永田の五	寿美枝	
高四の七	高四の七	高四の七	斎藤照子	
高田守夫佐子(分納)	高田守夫佐子(分納)	高田守夫佐子(分納)	鈴木敦子	
高田中久子	高田中久子	高田中久子	中島恭子	
高田金合計	高田金合計	高田金合計	元村良子	
高四の五	高四の五	高四の五	田中えつ	
高四庭の六	高四庭の六	高四庭の六	中川洋子	
高田典子	高田典子	高田典子	渡辺洋子	

講習会会員は会員外の方も大いにはお説明あります。	会員金は会員外の方も大いにはお説明あります。
子供の英語	その他の
コララス	ピアノ
水木金	科 目
大いにはお説明あります。	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日
三〇〇円	福岡支部
三〇〇円	琴 花 (小原流)
三〇〇円	バイオリン
三〇〇円	フランス人形
三〇〇円	金士 士木火火
三〇〇円	山田流
三〇〇円	木火
三〇〇円	曜 日</